


 巻頭言

講演会にて

 一般社団法人 全国植物検疫協会 会長 ^{はな}花 ^{しま}島 ^{よう}陽 ^じ治
 

若い頃は、様々な講演会に行く機会に恵まれ、その経験が貴重な財産となりました。その中で特に印象深い話を書いてみたいと思います。

一番初めに拝聴したのは、俳人の楠本憲吉先生でした。楠本憲吉氏は、1921年大阪の料亭なだ万の長男として生まれ、中学は神戸灘中学で遠藤周作氏と同級生であったそうです。大学は慶応に進み慶大俳句会を起したのち昭和44年から俳誌「野の会」の主宰をつとめました。俳句だけでなく、多方面に興味を持ち、自由闊達なエッセイストとしても知られておりましたが、昭和63年66歳で逝去されました。

お話を聴く前は、お堅い文学の話が中心だと思い、正直気乗りしなかったのです。当日、予想どおり背が高く眼鏡し着物姿で楠本氏がさっそうと登場してきました。何を話になるかと思つた矢先に、いきなり海外旅行でのエピソードでした。見知らぬ上品なご婦人がホテルにチェックインする時に「Name」の欄に〇〇、「Age」の欄に35、「Sex」の欄には、男性・女性と書くところを勘違いして週2回と書いていたのを目撃してしまったというお話です。今でしたら問題になるような話です。そのときは聞いた瞬間びっくりしました。同時に感じたのは、この世には何を話しても不思議に相手に不快感を与える人とそうでない人がいることに気づきました。そして自分はどちらの人間になるか理解して行動することが大切だと思ったのです。ちなみに講演は1時間くらい続きました。どの話も興味深く、まだいくつかは覚えています。今でも飲み会の席で使わせてもらっています。

森繁久彌氏は金田一春彦先生との会話の中で「白夜(びやくや)とは言わないで、はくやと言う。」と言われたそうです。(知床旅情の作詞は森繁氏)後日、森繁氏は白虎隊の命名由来について質問したそうです。ちなみに白虎隊とは、会津城の西門を守る隊だとおっしゃっていました。白虎は四神の一つで、天井の西方の神です。残りは玄武(黒で北)青龍(青で東)朱雀(赤で南)です。よく相撲で白房・青房は西と東を表すのだと納得しました。楽しい会話、知識のラリーを聴いていると自分もうんちくが言える人間になりたいと思います。

相撲ついでに脱線します。ある相撲評論家の話ですが、当時新弟子はほとんど中学出たてで、素直な子が多いので言いつけ通りに下駄を履いてくれて、足首の筋肉がつき、うっちゃんに非常に役立つそうです。ただその理由を伝えるときは「下駄を履くとカッタカッタ(勝った勝った)と縁起がいいから」と教えるそうです。また、ちゃんこ鍋で白菜を鍋に入れたとき、動かすとビタミンCが流出してしまうので「ひっくり返ると負けるだろう」と教えるそうです。何度も使わせてもらいましたが、

近頃は何のためにやるのかやらないのかを説明しないと駄目な気がしました。

堺屋太一氏の講演会で阿波踊りがどうして始まったかを教わりました。阿波の殿様、蜂須賀侯が徳島城の天守閣で城下を見ていたら全く動きがなく不景気を実感したそうです。そこで殿様は色々考えて阿波踊りの大会を開催することにしました。すると、優勝の賞金を目当てにたくさんのチーム(連)ができ、何十人と集まり練習をします。練習後皆で飲み会を開催し、衣装を考えたり作ったりすることで、活気が生まれます。また、大会を開催すればたくさんの観客が集まり、盛り上がります。お金が動くことで景気がよくなることと理解したのです。

ところで私見ですが、GDPは個人消費・設備投資・公共投資・輸出輸入差等で成り立っています。日本は500兆円くらいで60%が個人消費を占めています。ここを伸ばすために何をしたらいいかを考えていかねばなりません。若者の所得が増加するために大企業が門戸を開いてほしい。ただ日本式の大学に入るのは難しいけど出るのは簡単では駄目で、大企業で業務が遂行できない人は去らなければとルールを取り入れてほしいと思っています。

話が飛んでしまいました。堺屋先生は通産省時代、阿波踊りを参考に1970年に日本万国博覧会を企画したとおっしゃっていました。著書では「油断」「団塊の世代」等たくさんあります。あと、マルコポーロが世界一周できたのは蒙古帝国のお蔭だということでした。貨幣経済になって元のお金が経済を制していたので、安全をお金で買ったのだそうです。もう一つ、定年になって毎日ゴルフができるから楽しみという方がいるけど、知らない人とやるゴルフは楽しくない。仲間がいるからゴルフは楽しいと感じるはずだと。1時間以上の講演で原稿も見えないのに、淀みもなくお話されたことに、尊敬の念と同時に羨ましく思いました。

元西武の森祇晶監督の講演で印象に残ったのは、当時巨人軍が一塁手で四番バッター級(清原・広沢等)を集めたとき、会社に経理部長は一人でよい、三人はいらないと一刀両断したそうです。

また、池上彰氏は講演時に世界地図を二つ掲示して、日本が真ん中にある見慣れた地図と、オーストラリアが上にある北半球と南半球が逆の地図を見せてくれました。オーストラリア製の地図はオーストラリアを中心に書いているからと言われて、成る程と思いました。

このようにして、学生時代先生の話をはほとんど聴かなかった私が講演会ではしっかりと聴き、それをすぐに人に話すと頭の中にインプットされるのだなど実感しました。とりとめのない話にお付き合いいただきありがとうございました。